

認知症と糖尿病

超高齢社会における 診療のあり方を再考する

人類史上、誰も経験したことがない超高齢社会に突入した我が国において、加齢に伴う認知機能障害や糖尿病、がん、フレイルやサルコペニアに対する診療や進展予防は国家的医療課題の中心になりつつあります。とりわけ、糖尿病は認知症発症の危険因子として確立しており、すべての医師が軽度認知機能障害(MCI)を含む認知症診療の意義と重要性を学ぶことが求められる時代が到来しました。



琉球大学大学院医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座(第二内科) 教授 益崎 裕章

日本薬剤師研修センター認定研修単位申請中・日本病院薬剤師会生涯研修認定講座申請中
沖縄県地域糖尿病療養指導士会(OCDEL)単位申請中・日病薬病院薬学認定薬剤師研修申請中

日時 2017年1月13日(金)19:30~21:10

会場 沖縄県医師会館 3階 ホール (TEL:098-888-0087)

座長: 益崎 裕章 先生

琉球大学大学院医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病 内科学講座(第二内科) 教授

講演1 19:30-20:10

『 認知症専門医の立場から、 一般医に期待する認知症診療 』

演者: 松隈 憲吾 先生

琉球大学大学院医学研究科 精神病態医学講座 助教

講演2 20:10-21:10

『 糖尿病専門医の立場からみた 高齢者糖尿病治療について 』

演者: 岡田 洋右 先生

産業医科大学 第一内科 講師

*当日は軽食をご用意しております。

*ご提供、ご記載いただいたご施設名、ご芳名は医薬品および医薬・薬学に関する情報提供のために利用させていただくことがございます。ご了承くださいようお願い申し上げます。

共催 沖縄県病院薬剤師会



田辺三菱製薬株式会社



第一三共株式会社